

新たな仲間加入で4人に

地域おこし協力隊に吉田裕香さん着任

地域おこし協力隊の辞令交付式は5月1日、市役所で行われ、新たに隊員となる吉田裕香さんに田村正彦市長から辞令が交付されました。

田村市長は「若い人たちの移住に向け、地域おこし協力隊の仲間や卒業生と連携を深めて活動してほしい」と激励しました。任期は令和5年3月31日までの3年間で、移住者目線での情報提供や移住相談のほか、移住情報サイトでの情報発信を担当。2児の母で、自然豊かな環境でのびのび子育てしたいと移住を決めた吉田さんは「何を求めて移住したいのか、地元の人はどういう人に来てほしいのか調査しながら、一方向ではなくマッチングを図っていきたい。まずは子育て世代として、八幡平市の子育て環境の良さを伝えたい」と決意を示しました。

2年度の同協力隊は、吉田さんの加入により4人で活動していきます。吉田さん以外の活動内容は次の通りです。今後の活動は広報で毎月連載している「地域おこし協力隊だより」で紹介していきます。

▶渡邊清大さん、吉田力さん＝オリンピックホストタウン事業に関する情報の発信、市民との交流イベントの企画など

▶松本侑子さん＝移住希望者向けサイトの運用、移住者などへの取材や記事作成など

話題 ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
企画財政課広報広聴係(☎・内線1203)



(左から)渡邊さん、松本さん、吉田(裕)さん、吉田(力)さん



テープカットは行わず、規模を縮小して式を実施

山笑うもにぎわい乏しく

八幡平樹海ライン開通式

松川温泉から見返峠を結ぶ八幡平樹海ライン(17.1キロ)の開通式は4月24日、松川ゲートで行われ、11月5日からの通行止めが解除されました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式を縮小して実施。県や市、観光協会など関係者約40人が開通を祝いました。市観光協会の米川次郎会長は「一刻も早く厳しい状況が収まり、たくさんの観光客が来てくれることを願う」と思いを込めました。

今年の雪壁の高さは、最大約8.4メートルで平年並みです。

【広告】この広告は、広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について市が推奨などをするものではありません。

♪フェイシャルサロン月2回、メナード♪

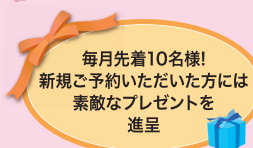
あなたのキレイを全力でサポートします!!

スタンダードコース(イルネージュ使用)
ビジター価格6,600円(税込)を

初回お試しのみ

50分

2,200円(税込)



毎月先着10名様!
新規ご予約いただいた方には
素敵なプレゼントを
進呈

メナードフェイシャルサロン大更

営業時間/9:30~19:30(最終受付18:00) 定休日/第3日曜日

〒028-7111 八幡平市大更26-73-4 サンハイツ201

TEL.080-5224-9904(佐藤)

※当コースは、エステで使用する化粧品、並びにホームケア化粧品のご案内を目的としています。

2台完備





ライトアップは、今年で6回目を迎えました

58年の思い夜空に満開

安比川沿い桜並木をライトアップ

畑地区振興協議会は5月5日、赤坂田地区付近の安比川沿いにある桜並木をライトアップし、通りがかった人たちの目を喜ばせました。

桜並木は、地域の人たちの心の憩いの場になればと昭和37年に地元の有志で安比観光会を結成し、数年かけて約200本を植樹したのが始まり。その後、地元住民による手入れや植樹が続けられ、現在では同協議会が「さくらの里」を地区の将来像の1つに掲げ、地域ぐるみで受け継いでいます。

健やか願い桜と揺れる

松川下ノ橋付近にこいのぼりを掲揚

自然と触れ合う活動を行う平笠自然クラブ(渡辺忠一会長、会員約30人)は、平笠の松川に架かる下ノ橋付近にこいのぼり約50匹を掲げました。

渡辺会長は「地元の自然に親しむきっかけになればとの思いから、初めて掲揚した。たくさんの人が見に来てくれて嬉しい」と声を弾ませました。

4月26日から5月6日の間、松川に新しい憩いを与えたこいのぼりは同クラブの会員や知人から寄付されたもの。元気よく泳ぐ姿に見る人の喜ぶ声が響きます。



松川と桜、岩手山を望むロケーションで泳ぐこいのぼり

新日本百名山も肅々と

七時雨山で山開き安全祈願

七時雨山の山開き安全祈願は5月24日、西根寺田登山口で行われ、市と市観光協会、市山岳協会の代表者が出席し、入山者の安全などを願いました。

例年行われている、市山岳協会による登山や山頂セレモニーは自粛。市内外から訪れる登山者の姿もなく、静かな山開きとなりました。

市山岳協会の高橋時夫会長は「十分な装備の下、マナーを守って、感染症の拡大防止にも配慮しながら登山を楽しんでほしい」と呼び掛けました。



新型コロナウイルス感染症の早期終息も祈願しました



左右確認、手を高く上げて渡ります

自らの命守るルール学ぶ

平館小学校で交通安全教室

平館小の交通安全教室は4月14日、正しく交通ルールを学び交通事故の発生を防ぐ目的で、岩手警察署八幡平幹部交番と交通指導員の協力により、同校校庭と、その周辺道路で開かれました。

全校児童95人が、交通指導員から特に注意が必要なポイントを聞き、校庭に白線で引かれた道路で実技指導を受けました。その後、1・2年生22人が公道で指導の成果を実践。自分の目でしっかりと周りを見て安全を確かめ、手を高く上げて横断歩道を渡りました。

手作業に込めた優しさ

松尾地区2団体が小学校に手作りマスク贈呈

手芸サークル「まゆみの会」と生け花サークル「あぐりアート」は4月28日、共同で作成した手作りマスク250枚を松野小・寄木小・柏台小に贈りました。

農作業の合間を縫って行われたマスク作りは、生地を会員から募り、裁断から包装まで密集を避けるために5人で実施。作業する場所や人、完成品の消毒にも気を配りながら「外出を控えなければならない連休中に親子でマスク作りに挑戦してほしい」と思いを込めて、マスクの型紙も封入しました。



密接を避け距離を置いて作業(4月27日、北寄木自治会館)

将来考える貴重な体験

田頭小の6年生対象に建設業体験学習

市建設業協同組合は4月28日、建設業に興味・関心を持ってもらおうと、(株)高建工業と(有)工藤管工をスタッフに田頭小で体験学習を開きました。

6年生14人がミニバックホーとローラーの運転を体験。建設機械にじかに触れ、慣れない操作に奮闘しながらも楽しく学びました。

千田東君は「運転は難しかったけど、慣れるとすごく楽しい。ミニバックホーの運転が一番面白かった」と顔をほころばせました。



真剣な表情でミニバックホーを運転

すなっぶギャラリー

市や学校などへマスクの寄付を多数いただきました。新型コロナウイルス感染症の影響で、マスクが手に入りにくい中、温かいご支援に感謝します。



田村晴代さん(左)と佐々木由美子さん(左2)が手作りマスク345枚を寄付(4月20日、松野保育所)



市建設業協同組合から市内介護施設などにマスク3,000枚が寄付されました(4月22日、市役所)



(株)Local Innovatorから市内就労支援施設などにマスク1,500枚が寄付されました(4月23日、市役所)



(株)菅文から市社会福祉協議会などにマスク6,000枚が寄付されました(5月19日、市役所)